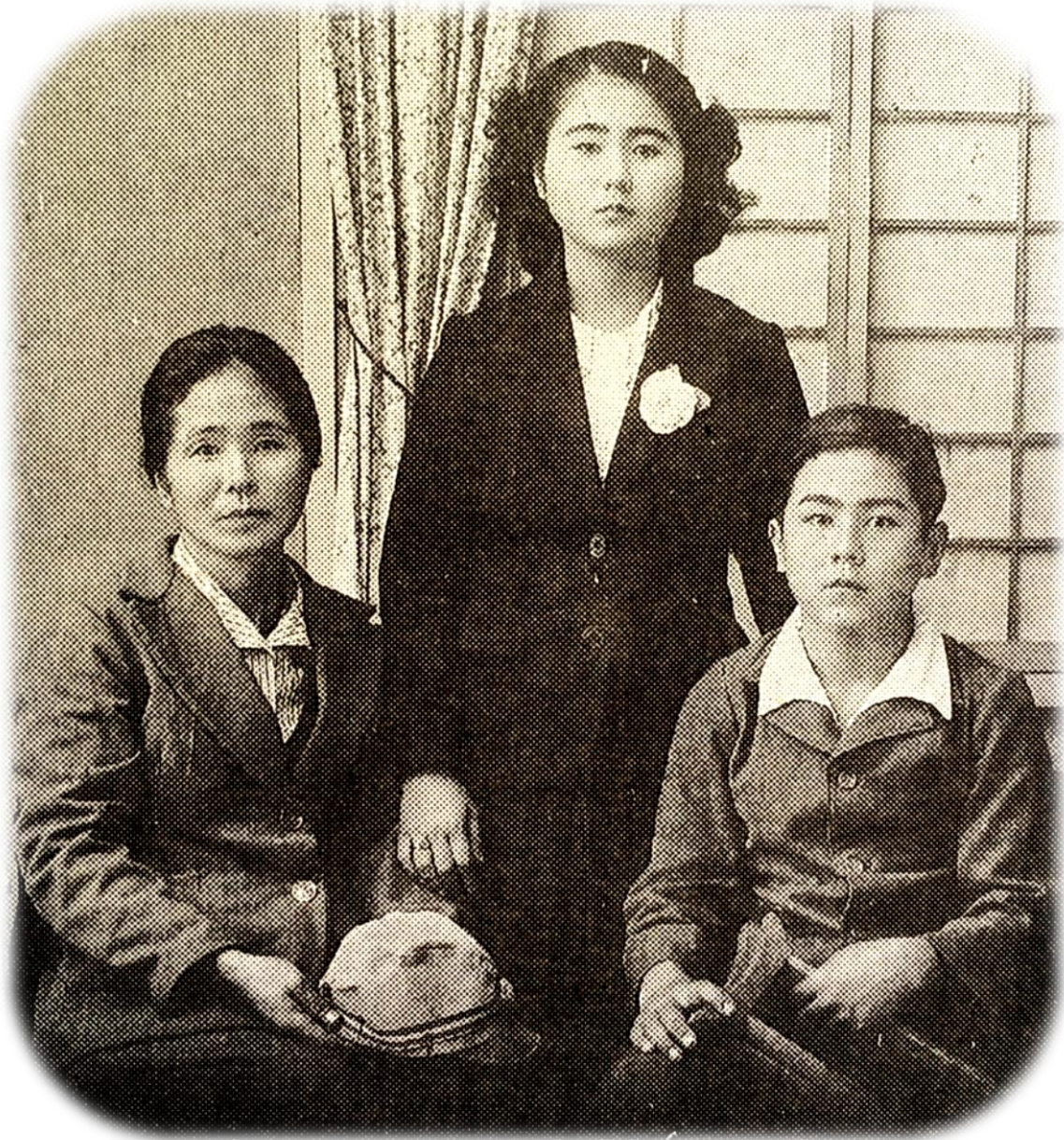


72年前のあの日から、

僕の目に映る沖縄は変わっていない。



朗読劇

イクサ ユ ニ イ チ ティ

戦世に生きて—^{みのる}実少年の沖縄戦—

日時：10月17日（月）9時50分～10時30分（月曜礼拝内で上演）

場所：沖縄キリスト教学院 仲里朝章記念チャペル

戦世に生きて—実少年の沖縄戦— あらすじ

「母さん、僕はね、もう少し大きくなったら絶対に少年航空兵になって、あの飛行機に乗るよ。そして鬼畜米英をバツバツと打ち破るんだ！」

1944年、兼城村（現・糸満市）の波平に、ミノルという活発な少年が住んでいました。ミノルは、その当時の少年なら誰でもそうだったように、軍人にあこがれ、立派な兵士になることを夢見ていた軍国少年でした。しかし10月10日の大規模な空襲があった日から、ミノルの夢と純粋な心は徐々に壊されていきます。10歳のミノルの目に映った戦争とは一体どんなものだったのか。そして、のちに「十・十空襲」と呼ばれるあの空襲から72年経った今、ミノルは何を語るのか。

沖縄キリスト教学院 平和研究所所長であり、自らの戦争体験を語りつづける大城^{おおしろ}実^{みのる}先生の半生を、学生たちが朗読を通じて追体験します。今年制作された本作は、今回が初めての上演となります。沖縄キリスト教学院にしかできない朗読劇を是非ご覧ください。



出演者



玉城 里奈 (英コミ4年)



眞榮田 舞 (英コミ4年)



新垣 美郷 (英コミ4年)



森本 彩 (英コミ4年)



阿波根 昌孝 (英コミ4年)



仲村 仁志 (英語科2年)



山口 舞 (英コミ4年)



大城 実先生

(沖縄キリスト教平和研究所 所長)

原 作：大城 実『一軍国少年の沖縄戦とその後』（2014年）

大城 順子『いくさゆにいちてい』（1995年）

表現指導：上原 明子（総合教育系 教授）

脚本・演出：下地 優貴子（宗教部 職員）

【お問い合わせ】沖縄キリスト教学院 宗教部

☎098-946-4152 E-mail: shukyobu@ocjc.ac.jp